

メニューイン国際コンクールジュニア部門優勝記念  
前芸術監督ゴードン・バック氏を迎えて

公益財団法人  
青山音楽財団新人助成公演

# ヴァイオリンリサイタル 京都公演

Keila Wakao Violin Recital with Gordon Back

## 若尾圭良



ブラームス: 「F.A.E.ソナタ」よりスケルツォ ハ短調  
フランク: ヴァイオリンソナタ イ長調  
イザイ: 無伴奏ヴァイオリンソナタ 第3番 ニ短調 作品27-3 「バラード」  
ショーソン: 詩曲 作品25  
サン=サーンス: 序奏とロンドカプリチオーソ イ短調 作品28  
やむを得ない事情により、曲目等が変更となる場合があります。

若尾圭良 ヴァイオリン Keila Wakao, Violin  
ゴードン・バック ピアノ Gordon Back, Piano



2022年 12月2日(金)

19:00 開演 18:30 開場

バロックザール  
*Barocksaal*

4,000円(全自由席)

京都 青山音楽記念館

未就学児入場不可

阪急電鉄 上桂駅下車 西へ300メートル

チケットのお求めは  
・青山音楽記念館 075-393-0011 受付 9:30~18:00 (月・火 休館)  
・ローソンチケット <http://l-tike.com> (Lコード54185)  
・チケットぴあ <http://pia.jp> (Pコード 224-388)

主催、お問い合わせ  
: 日本アメリカ交流コンサート  
[wkboston@live.jp](mailto:wkboston@live.jp)  
後援: 株式会社ドルチェ楽器

お買い求め頂いたチケットのキャンセル、変更はいたしかねます。

若尾圭良ヴァイオリンリサイタル東京公演  
2022年12月6日(火)19時開演 王子ホール

# 若尾圭良 ヴァイオリンリサイタル 京都公演

Keila Wakao Violin Recital with Gordon Back

青山音楽記念館 パロックザール

主催、お問い合わせ：日本アメリカ交流コンサート  
wkboston@live.jp

後援：株式会社ドルチェ楽器



若尾圭良 ヴァイオリン Keila Wakao Violin

2006年、ボストン生まれの16歳。2021年ユーディ・メニューイン国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門優勝、併せて委嘱作品の優れた演奏に対し、作曲家賞を受賞。2021年スタルバーグ国際弦楽器コンクール優勝、併せてバッハ賞受賞。

4歳になる少し前にヴァイオリンを始め、6歳より元ボストン響コンサートマスター、故ジョセフ・シルバースタイン氏に師事する。現在、マサチューセッツ州ウォールナットヒル芸術高校2年生。ニューイングランド音楽院ブレックスクールにてドナルド・ワイラー・シュタイン、スーヴィン・キムの各氏に、日本では竹澤恭子氏に師事し、研鑽を積んでいる。

9歳でオーケストラと協奏曲を初共演。これまでにカラマズー響、チャタヌーガ響、リサウンドコレクティブ(シンガポール)、アデルフィー、ニューフィル、ボストンシヴィック、ニューイングランドフィル、岐阜大垣室内管などと共演。ニューヨーク・カーネギー(ヴェイル)ホール、ボストン・ジョーダンホール、ロンドン・カドガンホール、シンガポール・ヴィクトリアコンサートホール、北九州・響ホールなど著名なコンサートホールで公演を果たす。

2017年、11歳でボストンTedトークにて、スピーチと演奏を披露。12歳の夏より毎年、NY州イツァーク・パールマン音楽プログラムに参加、ジュリアード音楽院、名教授陣の指導を受ける。2020年14歳で、ボストン・リディーマー教会と東京・代官山ヒルサイドプラザホールの2箇所で開催されたリサイタルを催し、好評を博した。

2023年は、レディング響(ペンシルバニア州)、ユージーン響(オレゴン州)、ボルティモア室内管(メリーランド州)、レキシントン響(マサチューセッツ州)でのデビューと、各地でのリサイタル及び音楽祭出演が決定している。

使用楽器は、フローリアン・レオンハルト・フェローシップより貸与された、1745年製G.B.ガダニーニ。  
ホームページ <https://www.keilawakao.com/>



ゴードン・バック ピアノ Gordon Back Piano

ピアニスト、ゴードン・バックの輝かしいキャリアは、1978年ニューヨーク、アリス タリー ホールでのドン・スク・カン(ヴァイオリン)との共演から始まった。以降、ユーディ・メニューイン、ナタン・ミルシュタイン、マクシム・ヴェンゲーロフ、アーロン・ロザンド、ジョゼフ・スーク、サラ・チャン、ヨーヨー・マ、岩崎洗、レオニダス・カヴァコス、クリーヴランド弦楽四重奏団などと共演している。

英国ウェールズに生まれ、ピアノとヴィオラをマンチェスターの英国王立ノーザン音楽大学で学ぶ。奨学金を得てイタリアに留学、ギド・アゴ스티、セルジオ・ロレンツィに師事。1974年、英国に戻り、最年少でギルドホール音楽大学(ロンドン)の教授に就任。1980年には同校伴奏科の主任教授となる。

これまでにエリザベス王妃国際コンクール、チャイコフスキー国際、インディアナポリス国際、カール・フレッシュ、メニューイン国際など、世界中の主要なヴァイオリンコンクールで公式伴奏者を務めた。

現在、服部公益財団、芸術アドバイザー、ゴヴァー音楽祭芸術監督、2021年よりヴァンドーム賞国際ピアノコンクール審査委員長を務めている。

2002年、メニューイン国際ヴァイオリンコンクール芸術監督就任。同コンクールを唯一無二の国際的芸術イベントに成長させるべく精力的に活躍し、2010年オスロ、2012年北京、2014年オースティン、メニューイン生誕100年記念の2016年は本部ロンドン、2018年ジュネーブ、2021年リッチモンドと各地でコンクールを開催、成功に導いた。

メニューイン国際コンクールは、回を追う毎に、世界トップレベルの若手ヴァイオリニスト達の注目を集め、優秀な審査員及びコンテスト参加のマスタークラスを開催するなど、コンクールに留まらない幅広い音楽教育の場となっている。

2022年、同コンクール芸術監督からの引退を発表した。

若尾圭良ヴァイオリンリサイタル 東京公演  
2022年12月6日(火) 19時開演 王子ホール

パロックザール  
*Barocksaal*  
青山音楽記念館

お問い合わせ  
tel.075-393-0011  
9:30~18:00 月・火休館  
〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1  
<https://barocksaal.com/>

